

# FA-70/FA-71/FA-72 油圧ボトルジャッキ 取扱説明書

**生産物賠償責任(PL)保険付**

この度は、油圧ボトルジャッキ FA-70/FA-71/FA-72をお買い求めいただきましてありがとうございます。  
この「取扱説明書」はFA-70/FA-71/FA-72を安全にご使用いただく為のガイドブックです。  
弊社製油圧ボトルジャッキを初めてお使いいただく方はもちろん、すでにご使用された経験をお持ちの方にも、知識や操作方法を再確認する上でお役に立つものと考えております。  
この「取扱説明書」を最後までよくお読みになり、内容をご理解した上で正しくご使用くださいますようお願い致します。又、常にこの「取扱説明書」をお手元に置いて作業することをおすすめ致します。  
※ジャッキセット位置のないもの、位置や形状の違い等により使用できない場合があります。  
詳しくは、カーディーラー又は販売店にご相談ください。  
※記載されているイラストはイメージです。

## もくじ

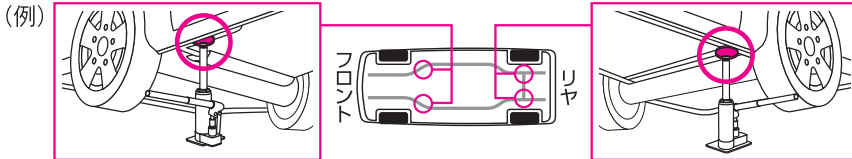
|                   |     |
|-------------------|-----|
| ①安全に関するご注意        | P.1 |
| ②ジャッキの使用条件        | P.2 |
| ③使用用途             | P.3 |
| ④各部の名称            | P.3 |
| ⑤有効範囲             | P.3 |
| ⑥作業する前に           | P.4 |
| ⑦ジャッキアップ手順        | P.4 |
| ⑧ジャッキダウン手順        | P.4 |
| ⑨ジャッキオイルの補充及び点検方法 | P.5 |
| ⑩エア抜きの方法          | P.5 |
| ⑪故障かなと思った時        | P.6 |
| ⑫製品仕様             | P.6 |
| ⑬保証規定／保証書         | P.7 |

## ① 安全に関するご注意 ※本製品を安全に正しくお使いいただく為に必ずお守りください。

この安全に関するご注意に書かれている内容は、お客様が購入された商品の仕様には含まれない項目も記載されています。

本製品をご使用前に取扱説明書(本書)をよく読み、十分理解した上で使用してください。取扱説明書には重要事項の説明が記載されています。記載内容に従わずに使用した場合、重大な事故につながります。

本製品は下記ジャッキセット位置以外は使用できません。



### 警告

### 重要

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容、及び物的(車両等)損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本製品を用途以外の目的で使用しないでください。
- 本製品を、分解・改造しないでください。
- 本製品は自動車・トラックをジャッキアップ又はダウンする為だけに専用設計されており、車両をジャッキアップした状態で維持する目的で設計されていません。
- 安全弁は出荷時に安全荷重に調整されている為、触らないでください。
- 本製品の最大耐荷重は、FA-70/2t(2000kg)・FA-71/4t(4000kg)・FA-72/6t(6000kg)です。耐荷重以上の荷重をかけると、本製品が荷重に耐えられず破損し、車両が落下する場合があります。
- 本製品を使用する前、無負荷状態でジャッキアップ・ダウンテストを行ってください。もし不具合があれば、使用せずに、販売店又は弊社までご連絡ください。
- 電子制御エアサスペンション装着車は、ジャッキアップ前に車両の取扱説明書をご確認の上作業をしてください。車高がかわり思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 自動車・トラックをジャッキアップ又はダウンする際、車両の周囲3m以内に人(特に子供)や物、他の車両等がないことを確認してから作業を行ってください。
- 使用前又は使用中、本製品に異常が発生した場合(オイル漏れ、変形、動きが悪い等)は、ただちに使用を中止し、販売店又は弊社までご連絡ください。
- ジャッキアップする際は、水平でない場所、接地面が軟弱な場所でジャッキアップすると、荷重により本製品が傾き、車両が落下する場合があります。
- ジャッキアップする場合は安全の為、輪止め等を使用してください。

- ジャッキアップする前にパーキングブレーキを確実にかけ、AT車なら[Pポジション]、MT車なら[1速又はRギヤ]にしてください。
- ジャッキアップする際は、車載の取扱説明書でジャッキセット位置を確認してから作業をしてください。
- ジャッキアップの際は車のタイヤをまっすぐの状態にして、ジャッキを車体に対してまっすぐに入れてください。
- ジャッキアップした状態のまま車両を移動させたり、車体に衝撃を与えないでください。
- ジャッキセット位置の中心がサドルの中央にかかるようにご使用ください。
- ジャッキアップ中にリリースバルブを調整しないでください。
- 車両をジャッキアップ中に、その場から離れないでください。
- 作業中は適時、周囲に人や物等が無いが確認してください。
- 本製品での作業中に、車両の下に頭や体を入れしないでください。万が一、ジャッキセット位置からサドルがずれて落下した場合、車両や本製品の破損ばかりではなく、ケガや人命にかかわる重大な事故を引き起こす原因となります。
- 本製品を含む2台以上のジャッキの同時使用は非常に危険です。同時使用はしないでください。
- ジャッキアップ中にジャッキセット位置と本製品のサドルがずれないように注意してください。ずれたままジャッキアップを続けるとサドルがはずれ、車両や本製品の破損ばかりではなく、ケガや人命にかかわる重大な事故を引き起こす原因となります。
- ジャッキダウンする際は、車両が急激に下りないようリリースバルブをゆっくりと回し、車両を下ろしてください。
- 本製品のサドル形状により、使用できない車種があります。

### 注意

### 重要

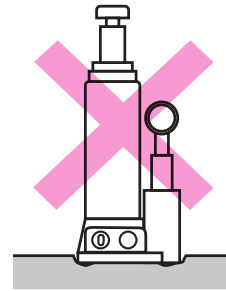
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、及び物的(車両等)損害の発生が想定される内容を示しています。

- 本製品は-20℃~60℃の範囲の温度環境で使用してください。
- 本製品を業務用で使用しないでください。
- ジャッキダウン中に、本製品の可動部分に手等がふれると、はさまれる危険性がある為、ふれないようにしてください。
- 本製品を持ち運ぶ際は、本体のすきま等で手や足等をはさまないように十分気をつけて取り扱ってください。
- 本製品を持ち運ぶ際に重いと感じた場合は、無理に一人で運ばないでください。
- 本製品のハンドルはジャッキアップ・ダウン時以外は、接触防止の為、ハンドルスリーブからはずしてください。
- 本製品を自動車・トラック以外の目的で使用しないでください。
- 荷物や人を乗せたままジャッキアップしないでください。
- 本製品の使用前又は使用後は各部に問題が無いが確認してください。
- ジャッキオイルは適時交換してください。
- 自動車・トラックのエンジンをかけたまま使用しないでください。
- 安全を確保する為にも、ジャッキスタンドの併用をおすすめします。
- 本製品を長時間倒したり、寝かせたりして保管しないでください。オイル漏れの原因となります。

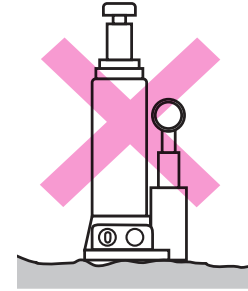
## ② ジャッキの使用条件

下記のような場合は使用できません

柔らかい地面はめり込む

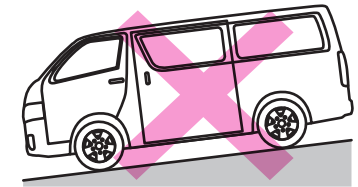


凸凹な地面



傾斜した場所

傾斜した場所や勾配のある場所では使用しないでください。

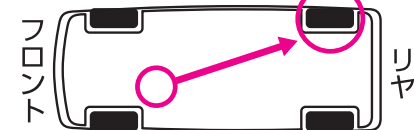


輪止め等を使用せずに作業

ジャッキアップする場所の対角に輪止めをしてください。

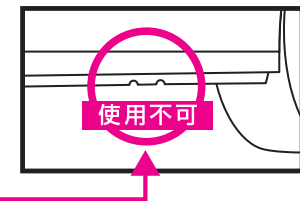
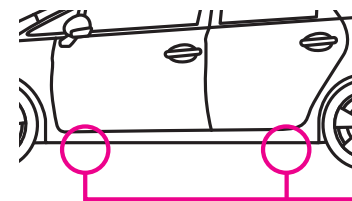
(例)

輪止め位置



ジャッキアップ場所

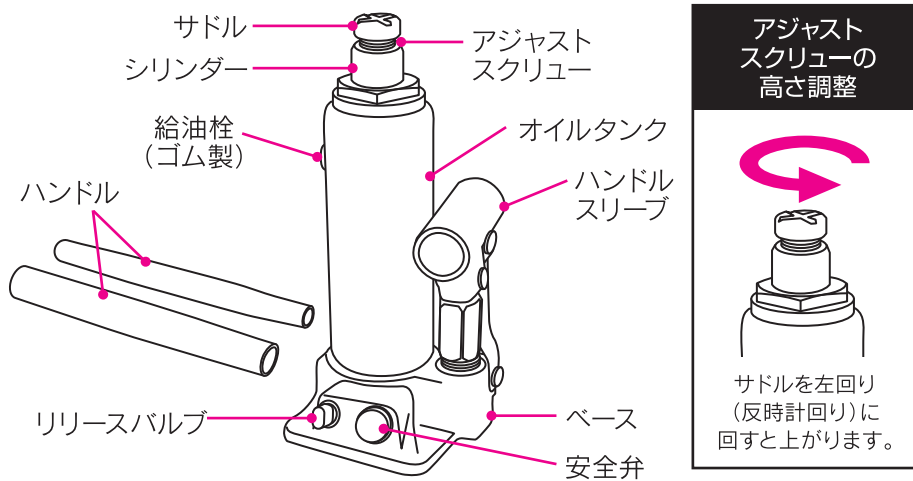
下記のジャッキセット位置の自動車は本製品を使用できません



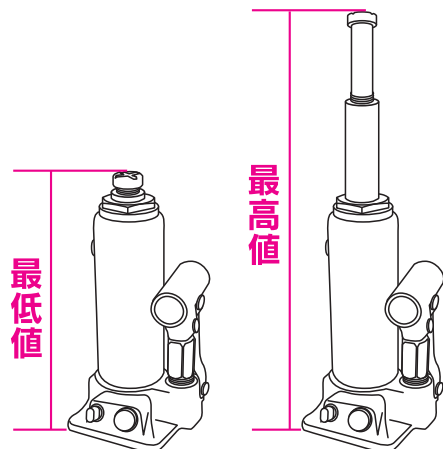
### ③ 使用用途

本製品は自動車・トラックのタイヤ交換、タイヤチェーンの着脱や整備の際に自動車・トラックをジャッキアップ又は、ジャッキダウンさせる目的で使用するジャッキです。  
本製品はジャッキアップ状態を維持したままでの作業等には使用できません。  
※本製品を業務目的で使用しないでください。  
※本製品を自動車・トラック以外の目的で使用しないでください。  
※ジャッキスタンドの併用をおすすめします。

### ④ 各部の名称



### ⑤ 有効範囲



|       | 最低値   | 最高値   |
|-------|-------|-------|
| FA-70 | 180mm | 345mm |
| FA-71 | 195mm | 386mm |
| FA-72 | 218mm | 445mm |

### ⑥ 作業する前に

手袋、膝等を保護する物、輪止め等を用意し、ジャッキに不具合がないか、使用前に点検を行ってください。  
ジャッキセット位置より地面までの距離を確認し、必要に応じてアジャストスクリューで高さを調整してください。  
ジャッキアップ時は、2人以上で作業されることをおすすめします。

### ⑦ ジャッキアップ手順

- ①水平で強固な場所で、パーキングブレーキを確実にかけ、タイヤに輪止めをセットする。
- ②ジャッキのサドルにまっすぐ荷重がかかるように、ジャッキをジャッキセット位置の真下にセットする。  
※凍結路面の場合は、ジャッキの下に布地を敷くと滑り防止になります。
- ③リリースバルブにハンドル先端を差し込み、右回り(時計回り)に回してリリースバルブをしっかり締める。

リリースバルブを締める  
※締め付けが不十分な場合は  
ジャッキアップができません。



- ④ハンドル2種をつなぎ合わせ、ハンドルソケットに差し込み、上下させジャッキアップする。  
※サドルが全く上がらない場合は、「故障かなと思った時」の①を参照してください。  
※サドルが途中でしか上がらない場合は、「故障かなと思った時」の②を参照してください。  
※サドルが自然に下がる場合は、「故障かなと思った時」の③を参照してください。

### ⑧ ジャッキダウン手順

- ①作業後、リリースバルブを左回り(反時計回り)に1/4回転までゆっくり回しジャッキダウンする。  
※サドルが途中でしか下がらない場合は、「故障かなと思った時」の④を参照してください。

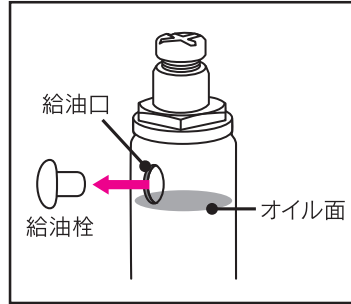
リリースバルブをゆるめる  
※リリースバルブをゆるめる際は、  
締めた状態から3回転以上  
回さないでください。  
故障の原因になります。



- ②車両が完全に降下したら、ジャッキを取り出し、リリースバルブをさらに3/4回転ほどゆるめ、サドルを足で踏んでシリンダーを下げる。  
※手で下げると危険です。  
※サドルが下がりにくならない場合は、「故障かなと思った時」の⑤を参照してください。
- ③アジャストスクリューを右回り(時計回り)に回してサドルを最低位置まで下げる。

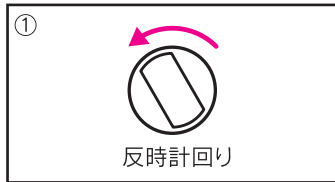
## ⑨ ジャッキオイルの補充及び点検方法

- ① ジャッキを水平で強固な場所にまっすぐ置き、ジャッキのサドルを最低位置まで下げる。
- ② リリースバルブは、開いたままの状態にしておく。
- ③ 給油栓をはずし、オイル(粘度:ISO VG32)を給油口の下端まで入れる。(右図参照)  
※オイル注入中にゴミが入らないように注意してください。  
※入れ過ぎには注意してください。
- ④ 給油が終わったあと、給油栓を取り付ける。



- △注意**
- 火気のある場所、又はその近くでオイル交換及び補充をしないでください。
  - ジャッキオイルは指定されたものを使用してください。エンジンオイルやその他のオイルは粘度等が違ふ為、作動不良の原因となるので使用しないでください。  
ジャッキオイル:F-62ジャッキオイル又はISO VG32相当の一般作動油を使用してください。

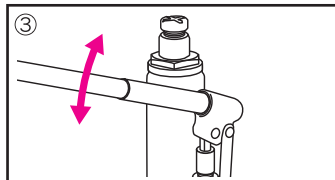
## ⑩ エアー抜きの方法 ※作動能力を維持する為に、定期的にエアー抜きを行ってください。



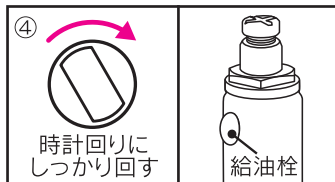
- ① リリースバルブを1/2回転ゆるめる。



- ② 給油栓をはずす。



- ③ ハンドルを5~6回すばやく上下に動かす。



- ④ リリースバルブを締め、給油栓を取り付ける。

## ⑪ 故障かなと思った時

|   | 症状         | 原因                    | 対処                        |
|---|------------|-----------------------|---------------------------|
| ① | 全く上がらない    | リリースバルブがしっかり締まっていますか。 | リリースバルブをしっかり締めてください。      |
|   |            | エア어가混入していませんか。        | エア抜きをしてください。P.5参照         |
|   |            | ジャッキオイルが不足していませんか。    | ジャッキオイルを適正量補充してください。P.5参照 |
| ② | 途中でしか上がらない | ジャッキオイルが不足していませんか。    | ジャッキオイルを適正量補充してください。P.5参照 |
| ③ | 自然に下がる     | リリースバルブがしっかり締まっていますか。 | リリースバルブをしっかり締めてください。      |
| ④ | 途中でしか下がらない | パワーユニットに問題があります。      | 販売店又は弊社までご相談ください。         |
| ⑤ | 下がりきらない    | サドルを足で踏んで下げましたか。      | 足で踏んで下げてください。             |
|   |            | パワーユニットに問題があります。      | 販売店又は弊社までご相談ください。         |

※その他、原因や異常箇所が判らない場合は使用を中止して、販売店又は弊社までご相談ください。  
※本製品は業務用として使用できません。

## ⑫ 製品仕様

|                  | FA-70                     | FA-71                     | FA-72                     |
|------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 最大耐荷重            | 2000kg<br>(最大揚程質量) 19.6kN | 4000kg<br>(最大揚程質量) 39.2kN | 6000kg<br>(最大揚程質量) 58.8kN |
| 最低/最高地上高         | 約180mm/約345mm             | 約195mm/約386mm             | 約218mm/約445mm             |
| ストローク            | 約165mm                    | 約191mm                    | 約227mm                    |
| 本体サイズ(W)×(H)×(D) | 約90×180×90mm              | 約105×195×100mm            | 約115×218×110mm            |
| 重さ               | 約2.9kg                    | 約3.2kg                    | 約4.5kg                    |
| ハンドルサイズ          | 約285mm                    | 約285mm                    | 約285mm                    |
| ハンドル取付後全長        | 約300mm                    | 約300mm                    | 約310mm                    |
| サドルサイズ           | 約φ20mm                    | 約φ26.5mm                  | 約φ30mm                    |
| 作動油              | 油圧潤滑油(ISO VG32)           | 油圧潤滑油(ISO VG32)           | 油圧潤滑油(ISO VG32)           |
| 油量               | 約110cc                    | 約130cc                    | 約210cc                    |
| 使用温度範囲           | -20℃~60℃                  | -20℃~60℃                  | -20℃~60℃                  |